

令和3年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

|                                |  |                                     |    |   |                        |     |    |
|--------------------------------|--|-------------------------------------|----|---|------------------------|-----|----|
| 講義番号                           | 授業科目名  | ミクロ経済学演習Ⅰ・Ⅱ                         |    | 担当教員  | 小松原 崇史                 |     |    |
|                                | 英語授業科目名  | Seminars on Microeconomics I and II |    | 単 位   | 各 4                    | 学 期 | 通年 |
| 対象年次                           | 1・2年次  | クラス指定                               | なし | 他との関連   |                        |     |    |
| 履修条件                           | ミクロ経済学特論を履修していること。   |                                     |    |   |                        |     |    |
| テーマ・副題                         | ミクロ経済学に関する修士論文の作成  |                                     |    |   |                        |     |    |
| 授業の教育目的・目標                     | ミクロ経済学に関する修士論文を作成する。   |                                     |    |   |                        |     |    |
| 授業の理解度の到達目標                    | 演習Ⅰでは、ミクロ経済学に関する研究テーマを形成する。演習Ⅱでは、修士論文を完成する。  |                                     |    |   |                        |     |    |
| 授業キーワード                        | ミクロ経済学、市場、競争、価格、厚生   |                                     |    |   |                        |     |    |
| 授業の内容                          | 演習Ⅰでは、研究テーマの形成に向けた議論を行う。演習Ⅱでは、修士論文の作成を指導する。  |                                     |    |   |                        |     |    |
| 授業の方法                          | 演習Ⅰでは、先行研究の読解と研究テーマの形成に向けた議論を行う。演習Ⅱでは、修士論文の作成に向けて、修士論文の発表と、それに基づいた指導を行う。                 |                                     |    |   |                        |     |    |
| 授業展開                           | 演習Ⅰでは、1年を通して（1回から30回まで）、研究テーマの形成に向けた議論を行う。また、先行研究の理解をはかる。毎回、研究テーマについての計画と重要な先行研究の報告を求める。 |                                     |    | 演習Ⅱでは、1年を通して（1回から30回まで）修士論文の発表と、それに基づいた指導を行う。修士論文と先行研究との比較について議論する。 |                        |     |    |
| 成績評価方法                         | 発表の内容（75%）、参加の状況（25%）により評価する。  |                                     |    |   |                        |     |    |
| 成績評価基準                         | 総点において、100点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をCで合格とし、59点以下をDで不合格とする。                               |                                     |    |   |                        |     |    |
| テキスト                           | なし   |                                     |    |   |                        |     |    |
| 参考図書                           | N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編（第4版）』（東洋経済新報社、2019年）を用いる。                                  |                                     |    |   |                        |     |    |
| 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容 | 修士論文の作成には、多くの時間が必要となる。   |                                     |    |   |                        |     |    |
| 学生へのメッセージ                      |  |                                     |    |   |                        |     |    |
| オフィスアワー                        | 授業時に連絡する。  |                                     |    |   |                        |     |    |
| 連絡先                            | 電話番号   | 0270-32-1011                        |    | メールアドレス   | komatsubara@jobu.ac.jp |     |    |
| 人数制限                           | なし   |                                     |    |   |                        |     |    |